

田原福祉専門学校に看護学科創設が可能かの判断を前校長任命前にできていたのか

前校長任命前に具体的な検討と判断はしていない



岡本 重明

みんなの党田原市議員

市長公約について

問 田原福祉専門学校に看護学科創設が可能かの判断を前校長任命前にできていたのか。

答 就任後具体的に検討することになっていたので、判断まではしていない。

問 看護学科創設に向け、前々校長に辞めてもらい、前々校長の3倍近い費用を要する前校長を任命したことに間違いはないか？

答 任命したのは事実である。

問 前々校長と前校長在職中の入学者数の比較は。

答 大きな動きはない。

問 結果として目的を達成しなかった前校長を任命したのは市長で間違いはないか。

答 間違っていない。

PFI事業について

問 PFI事業を進めるうえで市がコンサルタント会社を入れる目的は。

答 専門的知識が必要であり、職員では対応が難しいため、業者に委託している。

問 炭生館、給食センターのコンサルタント会社名は。

答 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社である。

問 炭生館、給食センターの経理担当会社名は。

答 三菱UFJリース株式会社である。

問 コンサルタント会社とPFI事業者の経理担当会社がグループ企業に間違いはないか。

答 同じグループの一員と認識している。

問 炭生館整備当時、PFI事業に係る審査委員や応募企業等の相関関係の調査を行ったか。

答 調査に関する記録は残っていない。

問 市役所OBが何名、どのような役職で炭生館に雇用されたか。

答 事務長や館長として現在を含め3名勤務している。

問 その3名の中に現市長は含まれているか。

答 入っている。

問 小中学校での交通安全教育の取り組み状況は。

答 児童生徒の命を守り安全を確保することを最優先に、小学校では危険を察知し、回避したり予防したりする能力を育成。中学校では、通学手段が多様になるため、自ら考えて交通安全に留意する姿勢を指導している。

問 自転車通学の中学生には道路を横断する際、降りて渡

答 学校により状況は異なるので各校の取り組みを尊重するが、道路横断時降車の安全性を伝えるとともに、改めて交通安全意識を高めることの大切さや学校の役割の大きさも伝えながら、取り組みが進むように働きかける。

問 交差点のガードパイプ整備など、今後の安全対策の進め方は。

答 田原市通学路交通安全推進協議会等からの危険指摘箇所について点検や対策会議等を行い、道路構造令に準拠した交通安全施設整備に取り組み。

(※) サポカー…衝突被害軽減ブレーキなどの先進安全技術でドライバーの安全運転を支援してくれる車

【お詫言】

田原市議会だよりNo.72の14ページ古川美栄議員の1問目の答において、誤りがありました。

「70歳以上で7万708人」は、正しくは「70歳以上で7708人」です。申し訳ありませんでした。